

---

# オレと淡い空と黒い大地と

clover

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オレと淡い空と黒い大地と

### 【NZコード】

N5987D

### 【作者名】

clover

### 【あらすじ】

中学生3年のオレ、ハヤタの恋愛とその情景を描く！

## 第一話・始まり

オレは心地良く聞こえてくる河の流れる音を聞きながら空を眺めていた。

「オレが今寝そべっているこの地面、大地とあの青い空はどのくらい離れているのだろう・・・」

そんな事を考えながらため息を着いた。今オレは15才、地元の中学校3年だ。血液型はA型、自称天才肌オレは何だつて出来るなんて言っちゃってる奴だ。突然僕は立ち上がって叫んだ、

「いつたい何がダメなんだよ。」幾人かはオレを見たが別にオレは気にしない。よしつ空でも行ってみるかな。ツテ無理に決まる・・・あつ学校2時間目始まっちゃう(汗)急いでオレは鞄を持って走り出した。

キンーコンーカンーコーン2時間目はセーフだ。

「おいハヤタ、また遅刻かよー」こいつは親友の小柳海斗。オレらはいつも一緒にいる2人組だ。

「あ、うつせーなー、遅刻しないお前が変なんだよ」まあだいたいはこんな感じのトークしかしてないのが中学生だろう。

「2時間目高田だぜ、メンドーだなあサボる?」

「アホ言えわざわざ2時間目に間に合つように来たのにサボるか!」やつぱり小柳はいい、一緒にいると転職が上がって来る。

「はいはい、1時間目サボつてる奴がよく言つよ」センコウが来たからみんなは座つて授業を受けた。高田は厳しい奴だからみんな静かにしている。オレらも例外ではない、まあ寝てるだけだけどね。昼休みオレらは友人6人で屋上で輪を作つて話をしていた。

「てかさー彼女作んないとやばいんじゃねー」友人の一人で彼女いない奴が言った。

「やっぱそうだよなー」こいつも彼女無しだ。

「彼女はいいよー、なー」調子のつた彼女持ち2人が笑いながら話

す。オレと小柳は彼女無し、付き合ったこともない。そろ頑張んなと行けない時期だと思っていた所だ。 オレらもそろ

ちつオレは彼女が欲しい！これはみんな思つてりかも知れないが、オレと小柳は他人よりぜつたい強く思つてゐる自信がある。昨日だつて隣のクラスのたいして人気のない女の子に告白してみたがダメだつたんだ・・・

まあいいさ、これから頑張れば

「オレはこれから世界を救つてかわいい女の子ゲットしちゃうもんねー」テンションが上がつて來たので叫んでみた、みんな笑つてゐる。その笑顔がオレを安心させる、世界を救うなんて嘘に決まつてゐるしな。

放課後今にも雨が降り出しそうな空の下でオレは小柳と一人で廃墟っぽいビルのなかに入つていた。

「ふーっ、やっぱ誰もいないトコつて気持ちいい～」たしかに開放感はたまらなく気持ちいいが小柳と二人じゃな（笑い）

「おい、オレ上方いつて来るわ

「は？なんで？」

「嫌別に・・・」オレはこんなふうに答えたけどなにか上にいけばおこるのではないかとこの時意識はしてないが気付いていたのだろう。久しぶりに感じた好奇心だつた。

オレは階段を上つていた、 その時！ 強い風が吹いたかと思えば視界は急に真つ白になつて意識が薄れていつた・・・「あつ頭うつちつたかな？」

頭が重い・・・早く帰りたいわ。

「あれ？！？」驚きの余りオレは声を出してしまつていた。 ??? ?何個並べたか分からぬ程オレの頭の中ではクエスチョンマークが渦巻いていた。

オレがいたのは空氣自体が濁つてゐるのかしらないが辺りが霧に包

まれているような感じだ。

「は～頭うつてヤバクなつちまつたかな？」

しかしその時オレはどこかで聞いた事があるような声を聞いたような気がした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5987d/>

---

オレと淡い空と黒い大地と

2010年12月12日15時08分発行